

新泉サナホーム便り

第3号
2019年7月10日

発行人
新泉サナホーム
結城拓也

ご挨拶

施設長 結城 拓也

梅雨の候、利用者の皆様をはじめ、施設関係者の皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年、6月後半に台風が本州沿岸を通過したり、九州南部では大雨による避難情報が発令されるなど、大雨への警戒を身近に感じる日々が続いております。また、気温の変化も大きく、体調を崩す方も多いためです。

さて、前号からの期間、施設内での感染症の集団発生等はございません。6月後半から、気温の変化が激しいためか、体調を崩される方も出ております。外気温に合った衣類調整、室温管理はもちろんのこと、利用者の変化を素早くキャッチし、多職種で協力しながら必要なケアを速やかに提供できるように努めているところです。

面会の際など、気になることがございましたら、「ご遠慮なくお声かけください。利用者、ご家族の皆様より頂戴したご意見は真摯に受け止め、改善に努めて参ります。また、24時間365日、日々入所者のケアに携わる職員へ労いの言葉を掛けていただけると、幸いに存じます。

介護保険負担限度額認定証

について

生活相談員 横山 亮太

8月1日より、食費・居住費の負担限度額認定証が更新されます。すでにお手続き等お済みの方と存じますが、まだお済みでない方は、お早めにお手続きください。

区より、新しい負担限度額認定証が届き次第、施設まで原本または写しを「ご持参」「ご郵送」ください。

更新後の内容は、8月1日以降のサービスに対して適用されます。したがって、9月10日以降に発行・発送する請求書から反映されます。

「ご不明な点などございましたら、生活相談員・介護支援専門員までお問い合わせください。



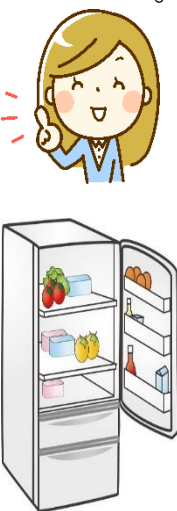
食中毒の予防へご協力ください

管理栄養士 河村 文智

年間を通して、食中毒は発生しております。梅雨時期から夏にかけては、暑さや湿気により食品が傷みやすく、食中毒が発生しやすい時期でもあります。施設としても、衛生管理に努めているところです。

そこで、ご家族の皆様やご面会に来られる方々にご協力いただきたいことがございます。まず、ご面会の際、食品をご持参いただくこともあると存じます。生ものご持参は、なるべくお控えください。次に、ご持参された食品を保管する場合は、居室内ではなく、職員へ預けてください。最後に、ご持参された食品を利用者が食べた際には、職員へ何をどの程度食べたか、一声かけていただくと助かります。

お手数をお掛け致しますが、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



旧新泉小震災救援所立ち上げ訓練

去る6月22日、隣接す

る専大付属高校新泉校舎にて、旧新泉小震災救援所立ち上げ訓練及び防災・消防フェスタが開催されました。当施設スタッフも、震災救援所立ち上げ訓練へ参加し、地域の要援護者を震災救援所へ誘導する訓練を実施しました。

当該地域で大規模震災が発生した場合、当施設は、当施設利用者の安全を守り、サービス提供を継続させることを最優先としつつ、震災救援所と協力しながら、地域の要援護者等の受け入れを行うことも想定しております。また、早朝夜間の職員が少ない時間帯に発災した場合、地域の皆様のご協力を得なければ



ばならないことも事実です。

日頃の施設内の訓練はもちろんのこと、地域の防災訓練等へ参加することで、施設全体の防災意識を高め、いざというときに備えたいと思っております。



♪笹の葉サラサラ…

7月7日、各ユニットに笹を設置し、願い事を書いた短冊や飾りつけを行い、七夕のひと時を楽しんでいただきました。

健康長寿、無病息災…古の昔から変わらぬ願いです。



七夕はいつ日本に？

七夕は平安時代に中国から伝わり宮中行事として行われるようになりました。江戸時代になると七夕行事が五節句の一つとなり庶民の間にも広まり、全国的に行われるようになったと言われています。そして現在は織姫と彦星のように願い事が叶いますようにと短冊に色々な願い事を書いて、笹や竹の葉に飾るようになりました。

7月7日 昼食

- ☆七夕そうめん
- ☆鶏とちくわの天ぷら
- ☆菜の花のポン酢和え
- ☆いよかん

七月



編集後記

今回は、梅雨時期の話題と施設からのご願いが中心でした。来月は、新泉サナホーム初の夕涼み会…スタッフが仕事の合間に着々と準備を進めているようです。

次号の発行は、晩秋を迎える時期を予定しています。Y/U